

良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会 無所属会派所属議員

<編集発行>

〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
自宅 042-795-7361(fax 兼用)  
市議会議員 吉田つとむ  
yoshidaben@gmail.com



## 東京ビックサイトの化粧品開発を見学

### OEM (ODM) の普及度の幅広さと深さを学ぶ

化粧品展では、OEM (及び ODM) の形態の企業が無数に並んでいました。思うに、化粧品に関しては、ブランド力を持っているか、ブランド力をつければ、製造を自社で行わなくてもできるのでないかと思えました。さらに、海外ということですが、韓国メーカーの数と商品の多彩は中国を圧倒しており、こと化粧品においては、韓国は日本の中で独自ブランドでも定着している様相を感じました。これは、K-POP ブームを通じて 2-30 歳台への浸透が功を奏したのでしょう。その意味では、化粧品分野では中国メーカーはそこまで進出できていないと思えました。

他方で、化粧品の原材料、OEM の製造では日本の製品が多数中国で作られている実感もありました。この先、ベトナムをはじめとする東南アジアの企業もたくさん出てくるのだろうと思いました。もちろん、その時、日本が果たして購買力において魅力あるマーケットなのかと言えば、正直、不明だと思いました。

さらに、容器やパッケージの製造となると OEM の中国企業が圧倒しており、おそらく、日本企業の存在は限られたものになっているのかも知れないと感じました。



## 八王子市内のたま未来産業フェア視察

八王子市内にある「東京たま未来メッセ」で開催された、たま未来産業フェアを視察見学しました。その日は、多摩地域をメインに周辺地域も含めたエリアの企業が参加する展示会でものづくりをする企業を中心に約 120 社、さらにリーディックプロジェクトに参加する約 20 社の一般企業が参加し、その他支援機関などで 10 の事業所などが参加したもので、多摩地域では最大の産業イベントになっており、今回が 2 回目の会であり、私は昨年について視察見学しました。



### この展示会では、町田市の 4 企業が出展展示

会場に入ると、多摩地域にもこれほど多くのものづくりの企業があるのかと思う反面、それぞれの技術が他とのかかわりがほとんどなさそうで、出展者がこれからの事業促進につなげられるのか、不明な側面がありました。以前に、町田市でも産業展を町田市立総合体育館で開催していましたが、せっかく技術があっても技術交流にはつながらず、出展者にメリットがでず、立ち消えになりました。例えば、そこに一般市民が訪れても日常生活につながるものはほとんど見いだせず、見世物や食べ物があるイベントとはかけ離れた内容になっているからでしょう。

とは言いながら、出展企業がせっかく製品開発をしたものを有用なユーザーにつなげるのが、この「東京たま未来メッセ」の役割でしょうから、BtoB の橋渡しができるように研究を進めていただきたいと思うところです。

◎水耕栽培メロン 世界一決定戦を開催しよう！

○支持政党なしの方々の代表＝吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています



若い世代の育成に全力をささげる  
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

# 吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは  
左記を読込  
して送信



好評インターンシップは、  
2025年第55期生がスタート

## 日本青年館でオーケストラフェスタ開催

外苑前にある日本青年館に出向き、第31回全国高等学校選抜オーケストラフェスタ(4日間開催)を鑑賞しました。フェスタの担い手の出演する各学校の演奏と選抜出演があり、2日間連続での鑑賞でした。吹奏楽は高校野球の応援や各種のイベントで見かけることがありますが、オーケストラではそれに弦楽器や大きな打楽器などが入り、多人数が出演する学校(神奈川大付属高校では約150名の出演者)から複数の学校が合同で出演するものまでそれぞれの特徴を示していました。

参加校は全部で82校(3890名)を数えており、年々増加していました。町田市やその近隣では、玉川学園や森村学園(90名)、東海大相模などが出演し、多摩地区では八王子東、南多摩中高の都立校や、大妻多摩中高、桐朋女子、明星学苑、明星学園などが登場しました。区部では、青山、駒場、西高、富士高の各都立高や品川女学院、田園調布学園、ICU高、恵泉女学園、豊島岡女子学園が出演しました。私立では女子高の参加が多くなっていました。選抜オーケストラでは、各2日間の代表者が演奏し、他が鑑賞するスタイルになっていました。



(パンフレット写真を使用)

## 第55期インターンシップスタート

インターンシップ参加にあたって、宮越屋珈琲にて吉田つとむ市議会議員から具体的な説明と面接をしていただきました。初対面でしたが、気さくに様々なことを教えてくださり、非常に有意義な時間となりました。医学部のインターンシップ生は初とのことなので、このレポートを通じて、インターンシップの新しい側面をご紹介出来たらと思います。

医療の質を担保するには技術、知識が重要であることはもちろんですが、政治の果たす役割も非常に重要だと考えております。そうした中で、地域医療と政治のかかわりを実際に学びたいと思い、この度インターンシップに応募しました。あらかじめ履歴書に書いていた希望を踏まえ、議会や健康福祉常任委員会などの政治家のお仕事と町田市の医療を中心に見学することになりました。



森田 瑛斗 東京大学6年生(第55期生)

また、ウクライナ情勢について話が及んだ際、吉田議員はウクライナ側だけでなく、ロシア側の情報にも注目しているとのこと、これまで日本のメディアを中心に情報を得ていた自分としては目からうろこが落ちました。このインターンシップの機会を通じて、吉田議員から様々なことを吸収し、知見を広げることが出来ればと考えております。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2025年1月末までに111名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎第55期(2025年春季)インターンシップは、1名参加で1月末よりスタートしました。